

伊丹市総合交通計画 (中間改定版) 進捗状況の評価(案)

令和5年度第1回伊丹市総合交通会議進捗管理部会

日時:令和5年10月18日(水)14時～
場所:伊丹市役所 1階 101会議室

基本目標1 快適な移動を支える都市環境の整備

1.基本戦略

1-① 自転車の安全・快適な利用の促進

◆進捗状況が【予定通り】の施策

- ・自転車通行空間の整備[1] ・自転車駐車場の計画的な保全[2]
- ・自転車安全利用に関する啓発[3]
- ・自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[4]
- ・警察による指導強化[5] ・自転車保険の加入推奨[6]

1-② 安全・快適で歩いて元気になるみちづくり

◆進捗状況が【予定通り】の施策

- ・歩行者通行空間の整備[7] ・無電柱化の推進[8]
- ・歩行者ネットワークの強化[10]
- ・安全・安心見守りネットワーク事業の推進[11]
- ・通学路・生活道路の安全対策[12]

◆進捗状況が【予定を下回る】の施策

- ・街路樹の適正な管理[9]

1-③ 目的や役割に応じた効率的な道路整備

◆進捗状況が【予定通り】の施策

- ・都市計画道路の整備[13] ・渋滞交差点の解消・緩和[14]
- ・橋梁等の計画的な保全[15]
- ・名神湾岸連絡線等の整備推進[16] ・被災時の輸送路確保[17]

1-④ 環境に配慮した交通まちづくり

◆進捗状況が【予定通り】の施策

- ・環境負荷の少ない道路整備の推進[18]
- ・スマートムーブの推進[19] ・グリーン経営の促進[21]

◆進捗状況が【予定を下回る】の施策

- ・自転車通勤の促進[20]

2.評価指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標		H31/R1 (現状)	R3	R4	R6	令和4年度 評価状況
自転車レーン等整備 区間延長(km)	目標	—	9.0	9.4	12.2	—
	実績	7.8	9.0	9.2	—	○
市営自転車駐車場 利用台数(台/日)	目標	—	6,064	6,331	6,865	—
	実績	6,865	5,999	6,370	—	◎
交通安全教室の参 加者数(人/年)	目標	—	6,300	6,350	6,450	—
	実績	6,258	4,322	4,716	—	△
自転車関連事故件 数(件/年)	目標	—	396	377	337	—
	実績	420	238	184	—	◎
人口1万人当たり の自転車関連事故件 数(件/年)	目標	—	20	19	17	—
	実績	21	12	9	—	◎
歩道(街路樹)再整 備延長(km)	目標	—	0.6	1.5	2.4	—
	実績	0	0.4	0.4	—	△
都市計画道路整備 率(%)	目標	—	88.7	88.9	89.1	—
	実績	88.1	88.6	88.8	—	○
大気汚染に関する環 境基準達成率(二酸 化窒素NO2)(%)	目標	—	100	100	100	—
	実績	100	100	100	—	○

基本目標1 快適な移動を支える都市環境の整備

3.主な実施施策

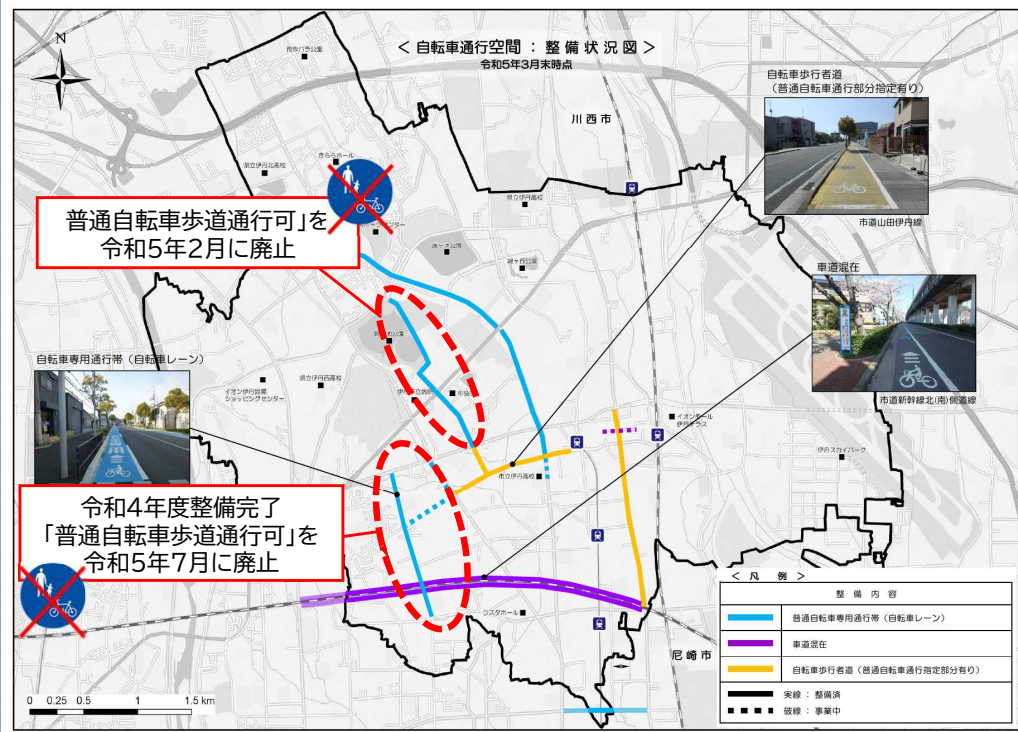
【自転車通行空間の整備】

市道昆陽車塚線の自転車レーンが完成し、全線(約1.4 km)の供用を開始しました。

供用開始に伴い令和5年7月に「普通自転車歩道通行可」の交通規制を廃止するとともに、すでに供用している市道昆陽池千僧線についても、令和5年2月に同規制を廃止し、原則、自転車は歩道上を通行できなくなりました※。

これにより、歩行者と自転車の通行空間が分離され、より安全で快適に通行できる空間を確保しています。

※13歳未満の子どもと70歳以上の高齢者は歩道を走行することが可能(道路交通法第63条の4)



【オリジナル動画

「ITAMI BICYCLE MANUAL 第3弾」の作成】

正しいルールを身につけ実践することで、交通事故を起こしたり、事故に巻き込まれたりする危険を減らすため、伊丹市ではオリジナル動画「ITAMI BICYCLE MANUAL(通称 イタバイマニュアル)」を作成しています。

令和4年度に作成した第3弾となる「自転車事故の防ぎ方」では、特に多い「出会い頭」での事故を防ぐためにはどのように走ればよいのか、注意すべき点などを解説しています。



Vol.3 自転車事故の防ぎ方

今さら聞けない...

自転車の交通ルールを再確認!

配信動画はQRコードから



【自転車交通安全啓発ソング

「ルールをまもろう！じてんしゃくん」を作成】

自転車の交通ルールや正しい乗り方を、歌って楽しみながら覚えてもらおうと、兵庫県警伊丹警察署等が「およげ！たいやきくん」の替え歌「ルールをまもろう！じてんしゃくん」を作成しました。



原 曲：およげ！たいやきくん
作 詞：兵庫県伊丹警察署、伊丹交通安全協会
演奏・歌：兵庫県立伊丹北高等学校吹奏楽部
イラスト：大阪芸術大学短期大学部
デザイン美術学科 浜崎真帆さん
協 賛：伊丹自家用自動車協会



↑配信動画は
コチラから

4.計画の進捗に対する評価

●ソフト対策

対面や動画配信等、感染状況に応じた取り組みが進められており、「自転車関連事故件数」が目標値を達成する等、効果があらわれています。

特に「自転車安全利用に関する啓発」においては、オリジナル啓発動画や替え歌「ルールをまもろう！じてんしゃくん」などを作成し、よりわかりやすく自転車の交通ルールを解説することで、意識の向上が図られています。

自転車レーンに隣接した歩道の「普通自転車歩道通行可」の交通規制の廃止については、自動車・自転車・歩行者の通行空間が分離され、より安全に移動できることが期待されます。しかしながら、廃止になっていることが十分に浸透しておらず、歩道を自転車で通行する姿が見受けられることから、引き続き、警察とも連携し、周知・啓発が必要と考えます。

●ハード対策

市道昆陽車塚線の自転車専用通行帯の整備が完了する等、概ね順調に整備が進んでいます。

「市営自転車駐車場利用台数」が目標値を達成しているものの、コロナ禍前までの水準には戻っておらず、新型コロナウイルス感染症による在宅ワーク等の「新しい生活様式」の定着が影響していると考えます。

アフターコロナにおける今後の動向に注視しながら、施策の推進に向け、新たな手法の模索も必要と考えます。

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

1. 基本戦略

2-① 公共交通の利便性向上

- ◆進捗状況が【完了】の施策
 - ・バス位置情報提供サービスの研究[29]
- ◆進捗状況が【予定通り】の施策
 - ・わかりやすい乗換案内の推進[22]
 - ・駅構内での安全性の確保[23]
 - ・バス停留所の整備[24]
 - ・バス停留所隣接の自転車駐車場整備の検討[25]
 - ・空港へのアクセス確保[26]
 - ・需要に応じた路線および運行ダイヤの研究[27]
 - ・新たな都市間交通の研究[28]
 - ・自動運転技術活用の研究[30]

2-② 公共交通の利用促進

- ◆進捗状況が【予定通り】の施策
 - ・公共交通や商業事業者、イベント等と連携した公共交通の利用促進[32]
 - ・高齢者等への市営バス特別乗車証等の交付[33]
 - ・市営バスオリジナルグッズの製作・販売[34]
 - ・市営バス事業の経営基盤の強化[35]
 - ・阪神都市圏公共交通利用促進協議会との連携[36]
 - ・兵庫県地域公共交通MaaS推進協議会との連携[37]
- ◆進捗状況が【予定を下回る】の施策
 - ・公共交通利用に関する啓発[31]

2-③ 高齢者等の移動手段の確保

- ◆進捗状況が【予定通り】の施策
 - ・高齢者等への市営バス特別乗車証等の交付 [再掲33]
 - ・高齢者、障がい者の外出支援[38]
 - ・高齢者等の移動手段の研究[39]
 - ・新しい移動手段の研究[40]

2. 評価指標 「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標		H31/R1 (現状)	R3	R4	R6	令和4年度 評価状況
市営バス利用者数 (万人/年)	目標	—	1,527	1,527	1,527	—
	実績	1,527	1,191	1,263	—	△
鉄道乗降客数 (人/日)	目標	—	72,240	82,560	103,200	—
	実績	103,200	87,087	91,497	—	◎
交通局営業収支率 (%)	目標	—	90	90	90	—
	実績	90	76	80	—	△

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

3. 主な実施施策

【JR西日本MaaSアプリ「WESTER」】



■WESTERでできること

- ①最寄り駅の時刻表やJR西日本の運行情報、遅延証明書が入手できる
- ②日本全国の経路検索や列車予約ができる。企画商品が購入できる
- ③ICOCAの残高がわかる
- ④アプリでWESTERポイントがたまる・つかえる
- ⑤おとくなクーポンやスタンプラリーなどおでかけが楽しくなるコンテンツが充実

【阪急伊丹線各駅に固定式ホーム柵を設置】

阪急電鉄では、「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、ホーム上の安全性を高め、すべてのお客様が安全に、また安心してホームをご通行いただけるよう、全駅にホーム柵(可動式・固定式)を設置するよう進めておりますが、この度、伊丹駅に固定式ホーム柵を設置いたしました。

今後、伊丹線の各駅(塚口駅・稲野駅・新伊丹駅)にも順次、固定式ホーム柵の設置を進めてまいります。(阪急電鉄より)



基本目標2 交流を支える公共交通の充実

【「空の日」を3年ぶりに開催】

空港や航空会社のお仕事が体験できる&ITAMIを丸ごと楽しめる1日、空の日エアポートフェスティバルが3年ぶりに開催されました。

小学生親子向け空港内見学バスツアーやANAの格納庫見学、JAL折り紙ヒコーキ教室、管制シミュレーター体験、関西エアポートグループ公式キャラクター「そらやん」などのキャラクターが登場するショー、音楽などが楽しめるステージなど、家族で盛り上がるイベントが盛りだくさんの一日となりました。

今年は、10月28日(土)に開催を予定しています。

ANA格納庫見学



【トミカ第2弾発売】

令和5年3月15日に第2弾となる伊丹市営バス(三菱ふそうエアロスター・138分の1スケール)のトミカを6,000個販売し、即日完売となりました。



【「まちなかバル」や「グリーンジャム」と市バスの連携】



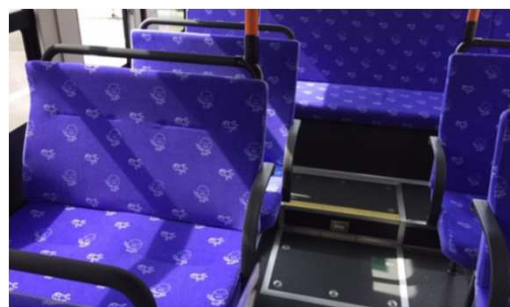
令和4年度も「まちなかバル」のチケット(1冊5枚綴り)に、大人1人が100円で市バスに乗れる「優待割引乗車券」1枚を付けて発売しました。また、今年10周年となる「グリーンジャム」では、駅と会場をつなぐ臨時直行便を運行する等、伊丹市内のイベントと連携した利用促進策を展開しています。

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

【市バス空港線での専用車両運行再開】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2年4月27日から運休していた専用車両(伊丹エアポートライナー)がJR伊丹駅と伊丹空港を結ぶ25系統での運行を再開しました。

外装は、「清酒発祥の地」伊丹にふさわしい酒蔵や菰樽がデザインされています。車内には、ラゲッジスペースがあり、市のマスコットキャラクター「たみまる」や「ヒコまる」がデザインされた座席シートや降車ボタンなど、オリジナルの仕様になっています。



4.計画の進捗に対する評価

「鉄道乗降客数」が目標値を達成するなど、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ交通需要に回復傾向が見られます。

公共交通の利便性向上の取組については、「**いたみバスナビの導入**」や、JR西日本MaaSアプリ「**WESTER**」のサービス開始など、利用者への情報提供の充実が図られています。

また、**阪急伊丹線の各駅**において、**ホームと車両の段差解消**および**固定式ホーム柵の設置**が進められており、利用者の安全確保に繋がると言えます。

公共交通の利用促進の取組については、伊丹空港で3年振りの開催となる「**空の日エアポートフェスティバル**」や対面に加え、オンラインでも開催された「**レールウェイフェスティバル**」など、公共交通利用に関する啓発が進められています。

さらに、航空需要の回復により、JR伊丹駅と伊丹空港を結ぶ市バス25系統でエアポートライナーの運行が再開されるなど、引き続き、アフターコロナである今後の動向に注視しながら、積極的な公共交通の利用促進策に取り組む必要があると考えます。

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

5.トピックス

【阪神バス】自動車教習所の無料送迎を路線バスで代替 (兵庫県尼崎市)

R3.7.31実施

阪神バス(株)が、路線が重複する自動車教習所の無料送迎を**乗合バス路線で代替**



三方にメリット

教習所

- 無料送迎コスト削減
- 交通事故リスク回避
- より広範囲からの集客

阪神バス

- 新規の運行コストなく固定収入を確保
- 新たな路線バス利用のきっかけを創出

教習生

- 乗降停留所が増加し、わかりやすくなり、利便性が向上
- より安心安全な乗合バスを利用可能

企業等の送迎の安全性や利便性の確保、乗合バス事業の持続性向上を期待

基本目標3 地域資源と市民力を活用した交通まちづくり

1.実施施策

3-① 空港を活かしたまちづくり

◆進捗状況が【予定通り】の施策

- ・空港へのアクセス確保[再掲26]
- ・わかりやすい乗換案内の推進[再掲22]
- ・空港の利便性の向上[41]
- ・無電柱化の推進[再掲8]

3-② 中心市街地回遊性の向上

◆進捗状況が【予定通り】の施策

- ・無電柱化の推進[再掲8] ・駐車場の計画的な保全[43]
- ・公共施設や商業事業者、イベント等と連携した公共交通の利用促進[再掲32]
- ・新しい移動手段の研究[再掲40]

3-③ 中心市街地における自転車等の放置の防止

◆進捗状況が【予定通り】の施策

- ・自転車駐車場の計画的な保全[再掲2]
- ・自転車駐車場の利用促進[44]
- ・放置自転車等の啓発・指導[45]
- ・放置自転車等の撤去強化[46]

3-④ 市民とともに作る交通まちづくり

◆進捗状況が【予定通り】の施策

- ・民間事業者との連携による交通安全啓発[47]
- ・高齢者運転免許自主返納の周知・推進[48]
- ・自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[再掲4]
- ・利用者の声を反映した市営バスの運営[49]
- ・交通政策に対する意見聴取[50]

2.評価指標 「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標		H31/R1 (現状)	R3	R4	R6	令和4年度 評価状況
空港線バス乗降客数 (千人/年)	目標	—	226	283	396	—
	実績	566	278	352	—	◎
中心市街地4エリアに おける 1日あたりの流動人 口(4エリア合計)	目標	—	102,000	112,200	135,760	—
	実績	168,064	99,190	96,918	—	△
中心市街地の自転 車・歩行者の休日通 行量 (人/10h、1調査地点 当たりの平均)	目標	—	6,590	6,590	8,330	—
	実績	8,238	7,050	—	—	—
観光入込客数(千人/ 年)	目標	—	3,100	3,100	3,100	—
	実績	2,738	1,931	2,498	—	△
放置自転車等台数 (台/日) ※調査日における台 数	目標	—	120	119	117	—
	実績	120	58	38	—	◎
人口1万人当たりの 交通事故発生件数 (件/年)	目標	—	49	48	46	—
	実績	50	34	25	—	◎
高齢者交通事故発生 件数(件/年)	目標	—	310	300	280	—
	実績	328	209	153	—	◎

基本目標3 地域資源と市民力を活用した交通まちづくり

3. 主な実施施策

【キッズフェスでの自転車交通安全教室】

令和4年10月23日に伊丹スポーツセンターで開催されたキッズフェスにおいて、市・警察・民間事業者等で連携し、模擬コースを実車走行する体験やデモンストレーションを用いての危険予知を学習する自転車交通安全教室を実施しました。

また、自転車交通安全教室の中で、阪急バス(株)が自転車とバス、乗客の事故を防ぐために気を付けるべき事柄の説明も行いました。

今年も11月5日(日)開催のキッズフェスで、教室の実施を予定しております。

実車走行体験



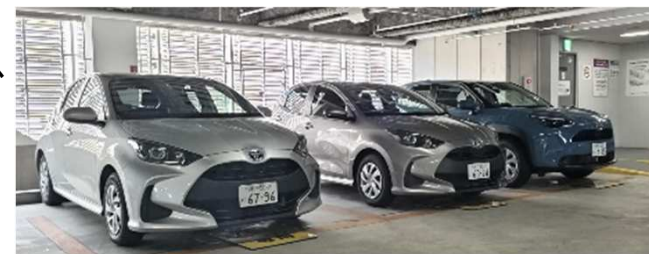
阪急バス(株)による説明



【JR伊丹駅前駐車場でカーシェア開始】

令和4年9月22日から、伊丹市立JR伊丹駅前駐車場を管理するタイムズグループが同駐車場にてカーシェアのサービス提供を開始しました。

市内や近隣市への移動に使用でき、市民サービスの向上、来街者の市内観光の促進が期待されます。



4. 計画の進捗に対する評価

中心市街地における放置自転車等の啓発・指導等の取り組みが進められており、「**放置自転車等台数**」が目標値を達成する等、効果があらわれています。

また、「**空港線バス乗降客数**」が目標値を達成するなど、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ、航空需要の回復が見られ、伊丹市の地域資源である空港を活かしたまちづくりの取り組みが期待されます。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響等により、「中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口」の目標値が達成されていないものの、JR伊丹駅前駐車場で新たな取り組みとして開始した「**カーシェア**」については、今後の新たな来街者の増加に繋がるものと評価します。

引き続き、アフターコロナである今後の動向に注視しながら、地域資源を活かした交通まちづくりに取り組む必要があると考えます。